普及指導センター職員紹介

技術専門幹　土田（花き）　専門普及指導員　五十嵐（作物）　普及指導員　川又（野菜）

参事（普及課長）石田（６次産業化（加工））　所　長　井浦　課長代理　加納（野菜）　企画専門員　木下（花き）

技術専門員　田崎（野菜）　主任普及指導員　竹内（野菜）　主任普及指導員　古川（果樹）

技　師　浅見（作物）　課長代理　萩野（作物）　専門員　長谷川（畜産）　会計年度任用職員　佐藤

～お世話になりました～

六井　勝	三条地域振興局農業振興部へ	真田　真	新潟地域振興局農林振興部へ
長崎　朋	新発田地域振興局農業振興部へ	近藤　正剛	新潟地域振興局農林振興部へ
前川　稚香子	長岡地域振興局農林振興部へ	小林　妙子	新発田地域振興局農業振興部へ
松永　宗幸	南魚沼地域振興局農林振興部へ	渡邉　恵美	退職
姉崎　千彬	退職		

西蒲原4Hクラブ「なじら」会員募集中！

「なじら」は、主に新潟市西蒲区を拠点に活動する若手農業者クラブです。「楽しい」「おもしろい」「カッコイイ」農業を目指して、仲間づくりや自己研鑽、農業経営改善に取り組んでいます。

毎月定例会を開催しています。自由に見学も可能ですので、お気軽に巻農業普及指導センターまで御連絡ください。　担当：浅見

★農福連携してみませんか？★

福祉事業所に農作業を委託して労働力不足を解消してみませんか。

興味のある方は普及指導センターまでお問い合わせください。

＜委託作業事例＞

水稲育苗箱洗浄、野菜や加工品の袋詰やシール貼り、ほ場の片づけ等、作業内容は御相談ください。　担当：五十嵐

ホームページ　http://www.pref.niigata.lg.jp/niigata_nogyo_maki/makinougyo.html

巻農業普及指導センターだより

2024. 5. 24【No. 122】

【発行元】
新潟地域振興局巻農業振興部
（巻農業普及指導センター）

【問合せ先】
● 普及課（担い手・経営支援グループ）
☎（0256）72－0945
（地域農業振興グループ）
作物・畜産☎（0256）72－0946
園芸☎（0256）72－0947
● 企画専門員☎（0256）72－0941
● FAX　（0256）72－2955
http://www.pref.niigata.lg.jp/niigata_nogyo_makinougyo.html

～新潟県農林漁業担い手対策表彰功績賞を表彰されました！

農業後継者の確保育成に御尽力された方を表彰する、「新潟県農林漁業担い手対策表彰」にこの度、西蒲区下山（旧西川町）の「有限会社そら野ファーム」が選ばれました。

平成28年からほぼ毎年、農業大学校生や高校生等の若い担い手候補を数多く研修生として受け入れてこられました。

作物の管理作業や直売施設「そら野テラス」での店舗管理を通じての農業経営体験学習や、農業大学校の学生版経営塾での農業・企業経営のキャリア教育の講師等、これまでの人材育成活動の功績が高く評価され功績賞を受賞されました。

【藤田社長（下中央）と㈲そら野ファームのみなさん】

～新潟県青年農業者意見発表で優秀賞を受賞されました！

西蒲原４Hクラブ「なじら」の渡辺克也さん（新潟市西区）が、令和５年度青年農業者意見発表会において、「優秀賞」を受賞されました。

お世話になった地域に貢献しようとUターン就農し、大規模に「いちじく」生産を行っています。

儲かる農業と雇用の創出を実現していく取組について「新潟に根を張り、作物、笑顔、人を創り、地域社会に貢献する」と題し語った熱い思いが、高く評価されました。

【渡辺克也さんの意見発表の様子】

～ごあいさつ～

巻農業普及指導センター所長　井浦　悟

日頃より、普及指導センターの活動に御理解と御協力をいただき、こころより感謝申し上げます。

農業振興を考えますと、昨今の激動する世界情勢のなか、また、常態化する異常気象のなか、いかに農業所得を確保し、地域農業の維持発展を目指していくかが重要と考えております。

本年度、普及指導センターは政策別にグループで普及活動を行う体制になり、付加価値の高い持続可能な地域農業の実現に向け、総合的な課題解決と実践に役割を果たしてまいります。

重要課題山積のなか、限られた人員で、皆様からより一層の御理解と御協力をいただきながら活動してまいりたいと思いますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和６年度　普及指導センターの主要な活動を紹介します

巻農業普及指導センターでは、当地域の農業が将来に希望の持てる魅力ある産業へと発展し、担い手を中心とした持続的な農業構造が実現するために、①農業を担う人材の確保・育成、②担い手が将来展望を持って経営できる農業の展開を推進・支援して参ります。

特に、以下に示す２項目を重点課題に設定して取り組みます。

重点「園芸の販売額１億円産地を達成するための計画策定及び実践」

既存園芸産地の体質強化による販売額１億円アップと新規産地の生産拡大による販売額１億円の達成を目指しています。

令和６年度も引き続き、砂丘地の「大玉すいか」「抑制メロン」「かんしょ」、水田を活用した「えだまめ」「たまねぎ」「いちじく」、施設栽培の「トマト」「一般切り花」の合計８産地を対象に、関係機等と連携し、園芸参入塾による新規栽培者の確保・育成（いちじく、一般切り花）、ハウス団地・生産団地の拡大支援（すいか、メロン、いちじく）や品目別研修会による技術向上・平準化に取り組みます。

【園芸導入研修会（たまねぎ）（R5.6開催）】

【園芸の販売額１億円産地の現況（令和５年度）】

品目	大玉すいか	抑制メロン	かんしょ	えだまめ	たまねぎ	トマト	一般切り花	いちじく
面積（ha）	115.0	6.0	22.8	234.0	7.6	7.2	3.2	15.0
販売額（億円）	12.5	0.67	0.7	6.6	0.14	1.2	0.8	1.96

重点「担い手を中心とした安定的な農業構造の確立」

今後予想される農業従事者の大幅な減少に対応するため、地域農業の担い手確保と担い手の経営基盤の安定化が急務となっています。

令和６年度は２地区（中之口・月潟、西川西部）を重点対象として、担い手の経営基盤強化と経営面積拡大への対応を支援します。

「中之口・月潟地区」

地区内12法人を対象に、飛び地や遠隔地の耕作地を交換による農地集約化を進めて、作業の効率化を目指します。併せて、経営面積拡大と作業の省力化に対応した新技術の定着・拡大を推進します。

水稲Ｖ溝乾田直播栽培は春作業の省力化と秋作業の分散化に効果があるため、導入ほ場での栽培管理指導により目標収量を達成し、大規模経営法人への普及・拡大を進めていきます。

【地図を見ながら農地集約化に向けた話し合い】

「西川西部地区」

旧西川町の西部から赤塚地区、中野小屋地区にかけてのエリアで耕作する７経営体を主な対象として、耕作地の交換を行い、農地集約化を進めます。また、当地域はほとんどが小区画未整備田であることから、ほ場整備事業の申請に向けた地権者の同意取得を支援します。

「新潟米基本戦略に基づく水田所得の最大化」

水田農業経営の所得向上には、需要に応じた作付けと目標収量確保及び高品質生産が必要です。そこで、当センターでは、水稲のほか需要の多い大豆、麦の作付けを推進しています。

令和５年は夏の長期異常高温によって、水稲と大豆で大きな品質低下となりました。安定した収量・品質の確保には、異常気象を想定した管理の励行が重要であり、水稲、大豆、麦の高品質生産に向けた情報をホームページ、研修会等により提供します。

令和６年度は異常気象に対応した管理で高品質農産物を生産し、所得向上を目指しましょう。

【適期収穫を呼び掛けた小麦栽培研修会（R5.6開催）】

「収益性の高い畜産経営の育成」

購入飼料をはじめとした生産コストの上昇と昨年の猛暑の影響による乳量・乳質の低下により、酪農経営は大変厳しい状況が続いています。酪農経営を安定させるために、生乳生産量の維持と品質の向上が求められています。

令和６年度は、特に暑熱対策に重点をおいた生産性向上の取組を強化します。また、コスト低減に向けた自給粗飼料の確保のために、引き続き稲ホールクロップサイレージ（稲ＷＣＳ）の生産拡大と生産供給体制の構築を支援していきます。

【乳牛への稲WCS給与】

「新規就農者の確保・育成」

新潟西部地域担い手対策協議会（新潟市西区、西蒲区、JA新潟かがやき、巻農業普及指導センターで構成）では新規就農・就業チャレンジフェア等への出展（県内）や就農啓発・相談活動等により、就農希望者の確保・育成を進めています。

令和６年度も協議会の活動を継続し、就農計画の達成に向けた支援や交流研修会の開催等により新規就農者の経営発展を支援します。

【新規就農者交流研修会を開催（R5.11開催）】